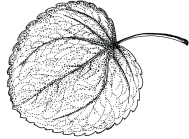


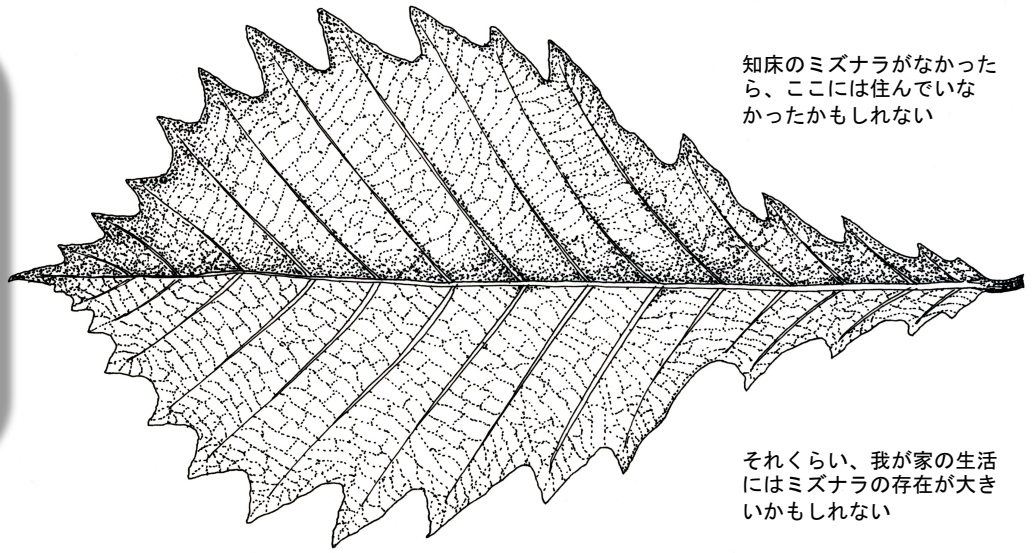
斜里町議会議員 4期目

桜井あけみ 議会レポート

No. 65



2022年 12月29日発行



知床のミズナラがなかったら、ここには住んでいなかったかもしれない

それくらい、我が家の生活にはミズナラが存在が大きいかもしれない

みなさん こんにちは

12月議会が12月16日に終わりました。いつもよりも「雪が遅いねえ」と言いながら枯葉色の景色を眺めていましたが、いまは、白い景色になっています。でも、気温が高く、クリスマスにはミソシのような、雨のようなお天気で、荒れています。停電なども起こり、道路状況も悪い中、自然の動きには逆らえないのだと思いながら、議会広報の編集作業に関わっています。

そして、なんとか年内には皆さんにお届けしたいと思いながら、やっと「桜井の議会レポート」作りに取り掛かりました。

みなさん、お元気でしたか？

町内やオホーツク管内では、未だコロナ感染者数の数が多いですね。学校も休校になったり。これからの季節、気持ち引き締めて！

2023年は選挙があります。こうしてみなさんに私の活動、町のこと、議会のことをお届けしてきてもうじき16年になります。立候補した時から、立ち位置も変わらず続けていられるのはみなさんの応援があってこそ！です。

11月には臨時議会があり、生活困窮支援や観光の落ち込みに対しての事業者支援としてクーポン発行事業など、いくつかの事業もありました。12月議会では、町職員の定年延長に関係する条例の改正が行われました。さて、どんなことがあったのでしょうか？



桜井の意見も交えて、ご報告します。

どうぞ、目を通してください。できれば、一緒に考えましょう。私たちの町のことから。



一般質問で続投を宣言した馬場町長と

●町長って大変そうだなあと思います。でも、私たちの町を、産業を、生活を、暮らしを守って幸せな人生を送れることに、大きく関わる仕事なんだなあとと思うと、やはり「偉い仕事」だと思います。馬場町長ご自身もおっしゃっていました。「やり残したことがある」と。議員の立場として言わせていただければ、その通りだと思っています。これまで、何度、何回も「なぜ、やらない？早く対応を！動くべき！」と言い続けてきた私にとっては、やり残した（全くやってないこともいっぱいある）ことだらけだと思っています。特に、観光なんて悔しいことだらけ。

本当に、今からでもすぐに取り組んで欲しい。4月の町長選挙の後でなく、今から！それくらい待った無しの状況です。課題は明確。

動いてください！今すぐに！と、誰もが強く思っていますよね。

議員辞職して出馬を宣言された山内議員

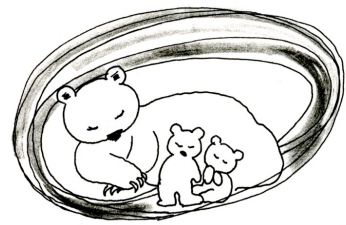
●私は、山内議員が議員辞職をされ、町長選挙に出馬する行動と勇氣はすごいなあと思いました。でも、残念なことに新聞では「政策提案できなかった」とおっしゃっていましたが、任期中に議員として「政策提言」にもつながる一般質問をされたのは3回だけ。（多ければいい訳ではないけど、内容も？）議会中、事業に関する質疑もほとんどされず。私自身は残念感がたくさんというのが正直な気持ち。自信の町政への方向性や政策。ぜひ、ご自分の言葉で発信して欲しいです。私だって知りたいです！



選ぶのは町民です



●こんな
つもりで
一般質問



●道の駅うとろ・シリエトクの整備は？

桜井は、そして、ウトロ地域では、これまでもずっと、観光地としてのウトロの整備を実施すべきと声をあげてきました。全体の計画について地域から提言書も提出してきました。しかし・・・
3年目になるコロナ感染。現在も低迷する観光。でも、そんな時だからこそ、コロナ後の集客のために、やることあるでしょう？と何度も一般質問や、質疑を続けてきました。

そして、今年2022年に「やっとですよ！」観光施設整備ワークショップ事業がスタートしました。（予算がついて、事業説明も議会で受けた）

内容は・夕陽台エリア（キャンプ場施設ボロボロ・夕陽台の湯もボロボロ）
・道の駅うとろシリエトクは建設から16年
課題山盛り

全町民に配布された「ことしの仕事2022」にも載っています。そこで、どのような地元の意向が出されているのか？と思い、質問しました。

しかし、未だ動いていないテナントで入っている事業者は兼ねてから課題だったいくつかの改修を、新年度の営業に向けてなんとかして欲しいという要望を出しています。その要望が出された時も、町は今後の整備に向けてのワークショップの開催などについては話をしなかったそうです。なぜ？

新年度に出された事業が、2022年が終わる現在も動いていない・・・しかも、道の駅機能や集客を考えると、海難事故でリスクについての情報の拠点など、実施、設置しなければいけない場所のはず。なぜ、動かないのでしょうか？

本当に、私には理解できません。
「今後、精力的に動いていきます。」というお答えをいただきました・・・が、今後っていつ？



知床は本当に魅力的な場所です。その魅力は、人それぞれに価値観は違います。多様な価値を持つ知床を、たくさんの人に知ってほしい。それぞれの役割で。

今まで以上に魅力的な知床にするのは、人の力だと思う。



もう、道の駅ができて16年です。その間にもずっと、各事業者、そしてガイド事業者、そして地域は観光の発展振興に務めてきたはず。今の知床観光の中の、道の駅にある課題、必要な機能、求められる機能は十分わかっているはず。

何もないところから、作り上げることではないはず。そして今回の事故を経て、リスクは多様なポイントから回避できることも、地域は知ったはず。

そうした地域の声を、出してもらいまとめる。町の言う、拠点施設の将来を見据えた再整備、再投資を急ぎ、検討していくべきです。



●知床しゃり と 観光協会

平成元年に、観光協会と商工会が出資して地域商社的な組織を立ち上げる、ということで町は900万円を運営支援金として出しています。また、スタッフの配置として地域おこし協力隊で支援を続けています。この事業も「ことしの仕事2019」に掲載されています。

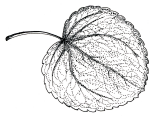
しかし、その後、法人の設立は遅れ、現在は観光協会と知床しゃりの活動も、役割もなんだかよくわからない？と言われていました。そこで、改めて町に知床しゃりの目的と今後の対応を聞きました。

知床しゃりの活動が軌道に乗ってきたら・・・という答弁でしたが、すいぶん呑気。だって、今は「観光地域づくり法人DMO」として観光庁へ登録しなければ、観光インフラからソフトまで、国の助成金の活用は難しい状況。

コロナで全国の観光地が低迷する中で、いち早くコロナ後に向けての復興を図っている観光地には「観光地域づくり法人DMO」の存在があります。町は、しっかりとコンセンサスをとって、推進へ向けてのサポートを行うべきだと思います。

両団体には、経験豊かな、そして新しい視点とセンスあるスタッフがいるのです。町の観光の核となる組織であるために。

町も商工会も観光協会も動いてください！



11月臨時会と12月議会で決まったこと・こんなこと・あれもこれも

●デジタルクーポン発行事業の追加 1000万円

デジタルクーポンの追加発行は、北海道からの助成金が対象になるとわかったから追加できました。スマホを持っている方は、なんとなく面倒臭いなあと言っていた方も結構な方がご購入されているようでした。でも、「買えない・使えない」という方がいらっしゃるもの事実。微妙なデジタルでしたしね。また、やはり手数料などが、結構な額になることもネックです。今後は積極的に活用したいとのことですが、事業者負担の手数料、利用料は、小さな規模の事業者には負担なんだと思います。



●冬季観光客集客のための事業いろいろ 3500万円

- ・宿泊とガイドツアーと買い物などに使えるクーポンの発売
- ・女満別空港へのバスの増便
- ・観光プロモーションのために
- ・冬の知床五湖ツアーの実施へ除雪費支援

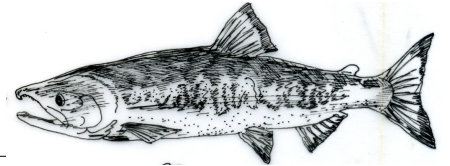
●物価高騰など生活者支援 2016万円

水道基本料金3ヶ月分免除 (1510円×3=4530円)
 水道利用組合には500円×3=1500円
 ?井戸水の人には(約150件)=0円・・・?おかしい!かなしい・・・



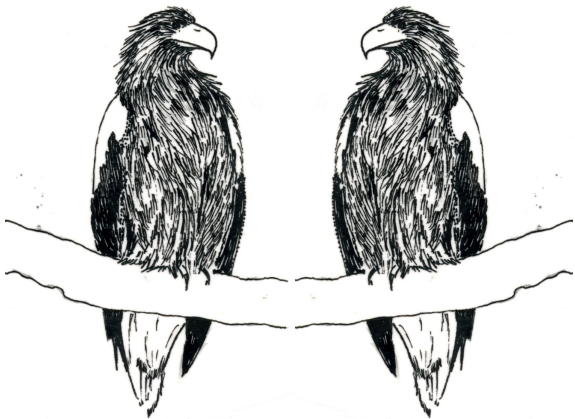
●ふるさと納税返礼品代金・基金積立など追加 8500万円

今年度は寄付額では2億円になりそうとの見込みだそうです。



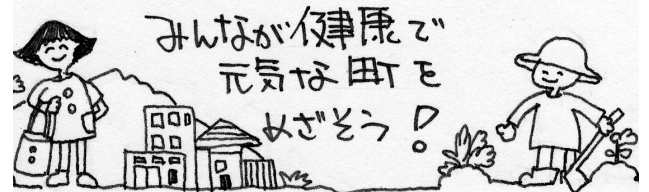
●遊覧船事故対応事業費 610万円

行方不明者の捜索に関わった、民間に基金から支給されます。この斜里町としての対応について、町は今回の事故に対して全国から寄せられた寄付(ふるさと納税の基金)から支出すると説明がありました。その対応については、感情的な部分は理解できるが、そもそも、今回の事故に対して町は責任を感じているのですか?という問いかけがありました。また、事故を起こした事業者の民事的責任などについて今後、賠償責任の原告になるのですか?という質問もありました。町のお金、公金として支給されることで、心情的には理解できるが、果たしてそういう判断で良いのか?という質問でした。町が、関わるべきラインとはどこなのでしょう。慰霊祭の計画も出ていますが、斜里町としての対応の範囲を、改めて考えました。難しい課題ですね。



●国保病院の人工透析ベッド2床が増設 5708万円

現在5床に2床増加となります。ただ、常に、非常用として1床は確保するために実際はこれから6床の可動となります。小清水日赤へ送迎事業で通院されている方も調整中だそうです。



●ウトロ支所に粗大ゴミの集積場設置 310万円

月に一度ウトロ地区で実施されている粗大ゴミの収集業務を廃止してウトロ支所へ搬入してもらうこととなります。利点としては、いつでも持っていけること(休日はダメ・時間も決まっていますが)。搬入する手段のない方は、支所に電話をすれば対応してくれます。同時に、これまで事業系の粗大ゴミについても集積場利用となるそうです。4月から!

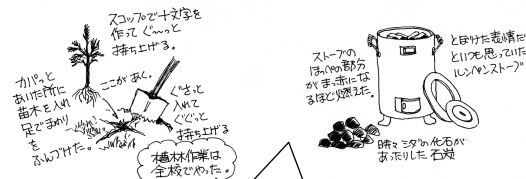
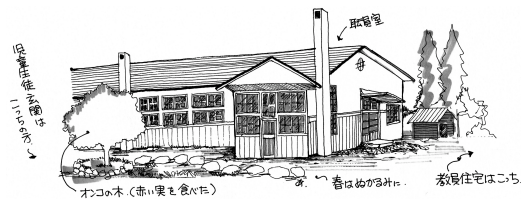


❄️ ❄️ ❄️ ❄️ ❄️ 斜里町議会議員も選挙です！

●1ページで町長選挙のこと書きましたが、同時に議会議員も選挙。今の状況は2名の欠員がありますから。新しい方が、立候補することになります。してもらわなければ！

議員に立候補するにあたり定年はありません。でも、75歳過ぎたら途中ででもやめたほうが良いと思います。町のために働きたいなら、ほかの方法でやるべきかな、と思います。16年間やってきて思うことです。経験が全て良いとも思いません。常に新しい課題に向き合うべきです。私の意見ですけどね。若い人に出て欲しいです。

議員の役目、仕事は、いたってシンプルです。ルールや運営は事務局がやってくれます。唯一必要なのは、自分で判断して、おかしいな？と思うことをしっかり質問すること。調べること。チェックすること。事業の目的を確認して、時に課題を提言する。私の16年間の経験から・・・そこ、大事だと思います。



昔、住んでいた小学校のスケッチです。閉校の時に、当時の様子をいくつかスケッチで起こしていました。結構覚えていましたね

❄️ ❄️ ❄️ いろいろ ❄️ ❄️ ❄️

●4年の任期が3月議会で終わります。後援会の皆さんと、また、いろいろ相談をする時期になりました。いろいろ考え、相談して進めて行こうと思います。

●今年も、満足できるほどではありませんでしたが、好きな山に登ることができました。アポイ岳・黒岳周辺・雌阿寒岳・雨竜沼湿原・摩周岳。そして八甲田山周辺。そのほか、林道や山の中散策。そうそう、25年ほど自家栽培している大豆。今年の収穫量は過去最高になりました。年が明けてから味噌を仕込みます～。

●石狩の田んぼで、粳まき、田植え、稲刈りもしました。たいしたお手伝いにはなりませんが、自分の食べる主食に関われ、良かったです。美味しいお米です

●16歳から夢になっていた旅好きが復活。いろんなところに行きたいです。11月に夫と東北を動き回りました。来年は、どこへ行こうか。

●斜里に住んで、大きな経済活動に与(くみ)する事なく、自分たちの生き方や暮らしの質を大切にしている人たちが、様々な動きを初めていて、それがすごく素敵で嬉しいと思っています。高齢者はあまり関わらず、応援の気持ちいっぱいで見えています！

●年明け2月には90歳になる母と、ラインでおしゃべりしながら、今更ながら学ばせてもらっていることに気が付いて感謝する日々。晩秋のプチ旅は、上士幌町のナイタイ高原と三国峠で温泉泊。

●ラジオから年齢を重ねると時間が早いと聴こえてきますが、その通りです。もう少し、丁寧な時間を過ごしながら暮らしたいと思います。だって、こんなに素敵な場所で生活できているんですから。などと、考えていると、やはりあれもこれもと、町に言いたくなるのです。

さて、次回は3月議会。新年度予算ですね。また、皆さんに報告させてください。

今回も、読んでいただきありがとうございます。



今年はウトロのペレケ川にも鮭の遡上がありました。一方でカラフトマスの姿が見られませんでした。大きな環境の変化・感じます。

ツイッターとフェイスブックで ほぼ毎日・情報発信しています。
桜井あけみ か、SAKURAI AKEMIで検索してください。
■ 議会レポートをブログの方に掲載します。
■ 桜井あけみ「ふつう」の生活 で検索しても出て来ます
■ <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。
「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104



メールアドレスは koe@akemichan.net です。
携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。
文中の誤字脱字については、お許しください。ごめんなさい・・・